



今月のテーマは『子供の虫歯の注意点』です。

お子様に出来てしまった虫歯。仕上げ磨きなどちゃんとケアしていたのに気づいたら虫歯が進行していた・・・という経験はありませんか？虫歯を作らないために、特徴などを理解し最適なケアを行い虫歯ゼロを目指しましょう！

【子どもの歯(乳歯)と大人の歯(永久歯)の違い】

子どもの歯(乳歯)は、大人の歯(永久歯)に比べて歯の質が柔らかく虫歯になりやすいです。また、生えたばかりの乳歯や永久歯も虫歯になると進行がはやいのが特徴です。

そのため、子どもの虫歯には注意が必要です。特に歯磨きや食生活など、自分ではコントロールできない小さなお子様は保護者の管理が重要です。そして生涯虫歯ゼロで過ごせるかは乳幼児期のケアによって大きく左右されます。

【子どもの歯の特徴】

1. 子どもの歯(生えたての乳歯や永久歯)は虫歯になりやすい

子どもの歯はやわらかく油断するとすぐに虫歯になってしまいます。

2. 乳歯の虫歯は進行がはやく広範囲に広がりやすい

乳歯は、歯の表面の硬いエナメル質の層が永久歯に比べると薄く虫歯になると進行がはやく、広範囲で広がります。

3. 保護者の方・家庭環境に大きく影響される

甘いおやつや不規則な食事リズム(ダラダラ食べ)や歯磨き習慣(仕上げ磨きの不徹底)など、家庭でのケアが虫歯の発生に大きく影響しています。

【虫歯を作らないために】

小さなお子様は自分でのケアや管理が難しいため、お子様が自分で管理ができるまで日頃の仕上げ磨きやフロ

食事管理などのケアを行きましょう。定期健診でのフッ素塗布も虫歯予防では有効ですので、3か月に1度の定期検診をお勧めします。

